

アメダス年報 2004（平成 16）年版について

（財）気象業務支援センターより、アメダス年報 2004 年版が本年 6 月に発売（価格 ¥5,460）されました。この CD に収録されているデータは、2003 年版以前のものとは異なった収納ファイル形式により作成されております。

このため、**Risk Manager** のサテライトシステムにおける、2004 年版のアメダス年報データの取り込みは以下の手順に従って行ってください。

1. 旧形式アメダスデータファイルの準備

- ・ アメダスデータを格納するための、ディレクトリ(以下「データディレクトリ」)を作成します。(例えば、C:\data)
- ・ アメダス 2004 年版 Disk2 を CD ドライブにセットしてください。

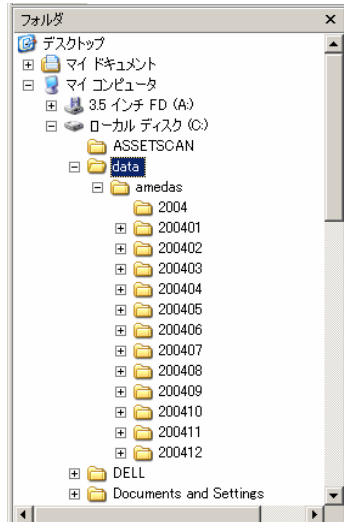


(図はアメダス年報 CD のディレクトリ構成)

- ・ アメダス 2004 年版 Disk2 の D:\old\amedas にあるすべての圧縮ファイル(CD ドライブが D ドライブの場合)を、ディレクトリ付きで解凍(※1)し、「データディレクトリ」に入れます。
- ・ 圧縮ファイルのリストは以下のとおりです。

Amedas2004.lzh	Amedas200401.lzh
Amedas200402.lzh	Amedas200403.lzh
Amedas200404.lzh	Amedas200405.lzh
Amedas200406.lzh	Amedas200407.lzh
Amedas200408.lzh	Amedas200409.lzh
Amedas200410.lzh	Amedas200411.lzh
Amedas200412.lzh	

これらの圧縮ファイルを、解凍先に C:¥data¥ を指定し、それぞれディレクトリ付きで解凍した場合、図のようなディレクトリ構造でファイルが展開されます。



(図は、C:¥data¥ にアメダスデータを解凍した状態)

※1 ディレクトリ付きで解凍

ファイル圧縮においては、ファイルのみの圧縮の他、ディレクトリ情報を含めて圧縮することが可能です。

ここでアメダス年報 2004 年版 CD のアメダスデータは、このような「ディレクトリ情報を含んだ」圧縮ファイルです。例えば、Amedas2004.lzh は、¥amedas¥2004¥ というフォルダの情報と、このフォルダ内のファイル群を含んでいます。

Amedas2004.lzh を「ディレクトリ付き」で、c:¥data¥ に解凍した場合、c:¥data¥amedas¥2004¥ というディレクトリが作られ、このフォルダの下にファイル群が解凍されます。

もし「ディレクトリ付き」で解凍しない場合、c:¥data¥ の下に、¥amedas¥2004¥ 内に配置されるべきファイル群が直接解凍されてしまいます。

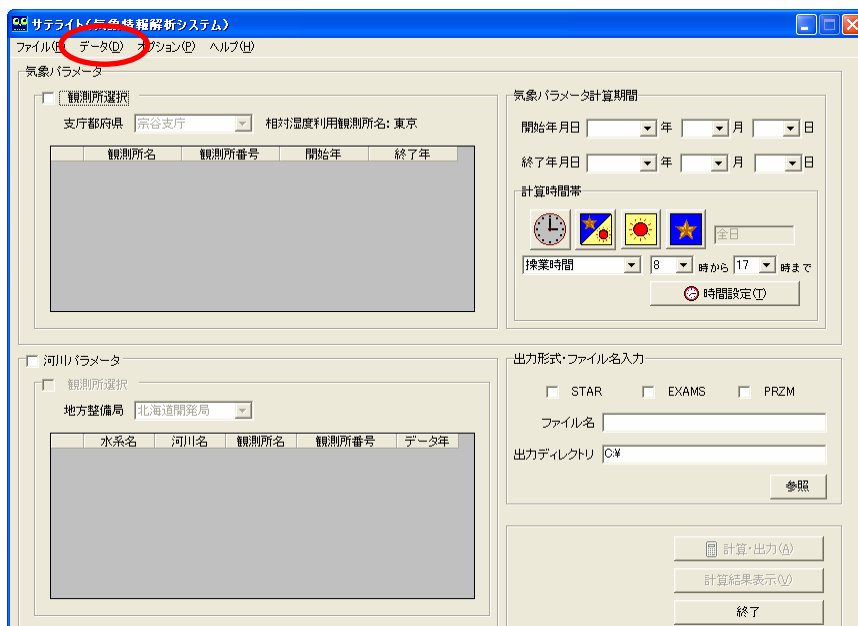
「ディレクトリ付き」の有無については、多くの圧縮解凍ソフトの場合、プロパティの変更で選択できます。(例えば、フリーの圧縮解凍ツール、“Lhaz”の場合、「ツール」⇒「オプション」と選択して、「フォルダ無視」の項のチェックをはずすことで、設定可能です。)

御利用の圧縮解凍ツールでは、「ディレクトリ付き」の解凍がなされない場合は、オプションを変更するか、「ディレクトリ付き」解凍の可能な他の圧縮解凍ソフトを御利用ください。

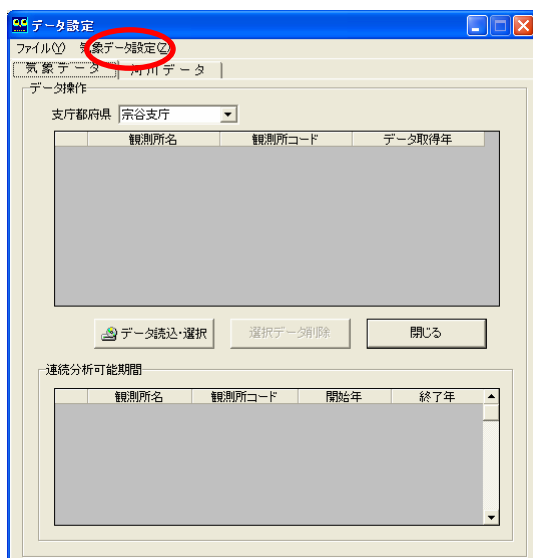
アメダスデータの指定

- Risk Manager サテライトシステムの「気象情報解析」より、ボタン操作（「データ」→「データ設定」→「気象データ設定」→「データディレクトリ設定」→「参照」）にて「アメダスデータディレクトリ設定」画面に進み、データファイルのディレクトリを設定しますが、ここで「データディレクトリ」（例えば、C:\data\）を指定してください。

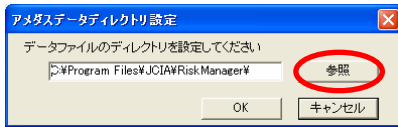
以下に画面例と動作を示します。



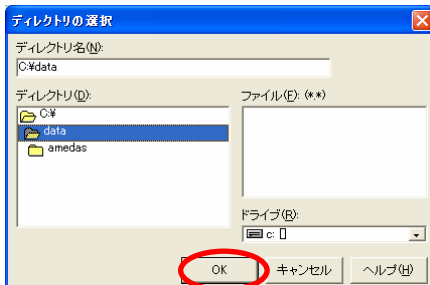
メニューバーから「データ」→「データ設定」を選択



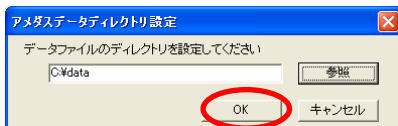
メニューバーから「気象データ設定」→「データディレクトリ設定」を選択



「参照」ボタンを押す



C:\dataを指定



「OK」ボタンを押す

- ・ 以後、2003年版以前と同様にアメダスデータを御利用いただけます。

以上、お手数をおかけしますが、よろしくお願いいたします。